

指導部だより

指導部主任指導主事 横田 雅博

平成30年3月に公示された新しい高等学校学習指導要領は、改訂に伴う移行措置並びに移行期間中における学習指導等についての通知を受けて、総則、総合的な探究の時間、特別活動などが既に先行実施されています。また、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育成することを目指す新学習指導要領の趣旨を十分に踏まえて指導されるようにすることも、本年度から求められています。

東京都教育委員会では、新学習指導要領の実施に向けて、平成28年度からアクティブ・ラーニング推進校、平成29年度からカリキュラム・マネジメント推進校を指定し、今年度からは新たに、ALCMコミュニティとして都立高校14校を指定いたしました。また、カリキュラム・マネジメントを確立するために、学校の教育目標や育成を目指す資質・能力、それらを達成するための教科等における具体的な評価基準などを可視化した学校の教育活動全般の特色を示す、グランドデザインの構築を全都立高校にお願いしているところです。これらの教育施策をつなげることで、新学習指導要領の円滑な実施に結び付けたいと考えております。

一方、高校教育改革に関連して、学習評価の見直しや指導要録の記載事項の改善等に関する通知が、本年3月に出されました。この通知によれば、各教科等の目標及び内容を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の三つの柱で再整理した新学習指導要領の下での指導と評価の一体化を推進する観点から、観点別学習状況の評価の観点についても、これらの資質・能力に関わる「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理して示されました。また、高等学校における観点別学習状況評価の充実を図る一環で、高等学校の指導要録の参考様式に観点別学習状況の評価の記載欄が新設されています。今後は、高等学校における学習評価の在り方について検討・確立していく必要があります。

そこで、今年度の教育研究員及び研究開発委員会では、学習評価の充実を図ることを目的の一つに挙げて、前者では、「学校の教育活動全体を通して育成すべき『資質・能力』を育むための授業改善と学習評価の充実」、後者では、「カリキュラム・マネジメントの視点に立った、各教科における『深い学び』を実現するための学習評価の充実」を研究テーマに設定し、研究を進めています。是非、研究員にお声をかけていただくとともに、年度末に開催されます研究発表には、多くの先生方にご参加いただき、御教示いただければ幸いです。

ところで、中央教育審議会は新たな審議を始め、「新しい時代の初等中等教育の在り方について」の中で、「普通科改革など学科の在り方」、「STEAM教育の推進」が議論されます。

東京都高等学校数学教育研究会の皆様には、今後とも都教育委員会の取組について御理解頂くと共に、文部科学省の動向を注視していただき、東京の教育を更に充実したものにしていだくことを期待いたします。

東京都教職員研修センターだより

研修部専門教育向上課 指導主事 徳永 政雄

教職員研修センターでは、算数・数学に関する研修講座を8講座実施し、東京都の算数・数学教育の更なる充実を図っています。以下に高等学校数学に関する講座を紹介いたします。

研修名【数学ⅠA】

「数学的活動の充実に向けた数学の授業づくり」

数学的活動について理解を深め、数学の授業づくりの基礎を学びます。

- 第1回 7月30日(火)午前 <演習他>
教職員研修センター
- 第2回 8月9日(金)午後 <演習他>
教職員研修センター
- 第3回 9月～11月 午後 <授業研究>
都内公立学校

研修名【数学ⅡB】

「数学的に考える資質・能力を育成する数学の指導の充実」

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成を目指した指導力の向上を図ります。

- 第1回 8月23日(金)午後 <演習他>
教職員研修センター

研修名【数学ⅡC】都数研との連携研修

「高等学校数学に関する授業研究と講演会」

学習指導要領の目標を踏まえ、多様な生徒の実態に対応した授業展開や指導の工夫について学び、指導力の向上を図ります。

- 第1回 6月20日(木)午後 <授業研究>
都立多摩科学技術高等学校
- 第2回 7月4日(木)午後 <講義>
千代田区立九段中等教育学校
- 第3回 11月 午後 <授業研究>
都立紅葉川高等学校

研修名【数学Ⅲ】

「数学に関する専門的な内容の理解の充実」

数学の専門的知識・理解を深め、数学的に考える資質・能力の育成に向けた指導力の向上を図ります。

- 第1・2回 8月27日(火)午前・午後 <演習他>
東京理科大学(飯田橋)

平成30年3月30日に高等学校学習指導要領が告示され、今年度は移行期間となっています。

各学校におかれましては、全面実施に向けて学習指導要領の改訂の基本方針を踏まえた教育課程の編成及び授業改善が必要となり、様々な計画を立てていることと思います。

高等学校の数学の特質に応じた授業改善としてのポイントは、数学的な見方・考え方を働かせた学習活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成するための指導に基づく生徒の主体的な学習活動と学習評価の更なる充実ととらえています。また、教育活動の充実を実現するためには、学習目標を達成させるためのカリキュラム・マネジメントがより求められます。

研修センターの研修を活用していただき、授業改善や数学を通して生徒の生きる力を育む教育活動の更なる充実につながっていただくことを期待しています。